

## サンゴ礁レクチャーシリーズのご案内

私たちサンゴ礁研究者は、世界でも稀に見る化石サンゴ礁でできた喜界島に研究所を設立し、美しいサンゴの海とそこで育まれた自然や文化、そして社会を見つめてきました。そして、この美しい自然と人々の暮らしがいつまでも続くこと、そして私たちの研究が将来へ繋がっていくように「100年後に残す」という目標を立てました。そのためには、私たちの次の世代の人を育てなければいけないと思うようになりました。

このサンゴ塾のメンター（先生）は世界でも第一線で活躍している研究者です。そして、みなさんにはその先生たちと一緒に皆さんの未来をサンゴ塾で考えて欲しいと思います。この小さな島は地球のモデルです。ここで起きている問題は、世界のどこに行っても起きているでしょう。そして、この島で学んだことをみなさんが世界中の地域で取り組んだら、地球の未来を変えられると私たちは思っています。みなさんが100年後に残したい未来と一緒に考えていきましょう。

ここに集まったみんなは未来の世界を一緒につくる仲間です。

仲間を大事に、サンゴ塾での学びを一緒に楽しみましょう

喜界島サンゴ礁科学研究所所長 山崎敦子

## 1. サンゴ礁レクチャーシリーズ（旧：サンゴ塾アーカイブコース）

サンゴ塾では、実際のサンゴ礁とそこに住む人々、そして地球環境課題の解決を目指しながら、新たな研究の種を発掘します。科学的な知識や手法に触れながら、サンゴ礁科学への理解を深め、課題を発見・解決するための基礎を固めます。そして、幅広い視野を育み、分野横断して課題を発見できる人物の育成を目指しています。

これまでのKIKAI College・サンゴ塾で開催されたサンゴ礁研究者によるレクチャーをオンデマンド動画でご覧いただけます。子供から大人まで十分に楽しみ、学んでいただける内容です。最新のレクチャーは随時、更新していきます。

## 2. 視聴可能講義動画

これまでにサンゴ塾で実施したレクチャーをご視聴いただけます。

### ■ 2024年度新規レクチャー

2024年度サンゴ塾レクチャーコースにて開講するレクチャーを順次追加予定です。また、この他にもサンゴ礁サイエンスキャンプで実施するレクチャー（詳細は後日公開）について順次追加いたします。

講師	テーマ(仮)
渡邊剛 (総合地球環境研究所)	基礎サンゴ学
山崎敦子(名古屋大学)	サンゴ礁の島の気候と海洋環境の変動
樋口 富彦(東京大学)	サンゴの白化現象
佐藤 崇範(琉球大学)	「日本のサンゴ礁研究の歴史」(仮)
磯村 尚子(沖縄工専)	サンゴ大群落の創出と維持機構の推定

藤井 琢磨 (日本大学)	環境の多様性と種の多様性の関係性 -奄美の内湾性サンゴ群集と多様な動物たちを例に-
--------------	---

## ■これまでのレクチャー

講師	テーマ
Samuel Kahng (北海道大学大学/ハワイ大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Coral Reef Ecology</li> <li>・ The wonderful world of coral reefs ~Coral Reef Biology and Ecology~</li> </ul>
Fredric Sinniger (琉球大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Exploring the deep coral reefs</li> </ul>
渡邊剛 (北海道大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンゴロジー～サンゴが語る地球環境変動～</li> <li>・ サンゴロジー ～弱くて強いサンゴから学ぶこれからのヒトと自然の関係性～</li> </ul>
樋口富彦 (東京大学 大気海洋研究所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンゴ礁におけるプラスチックゴミ問題</li> </ul>
山崎敦子 (九州大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンゴ礁は海のオアシスか？</li> <li>・ 海と私たちを巡る栄養</li> <li>・ 研究ってなに？</li> </ul>
田中健太郎 (東京大学 大気海洋研究所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンゴ骨格をアーカイブとして利用した過去の海洋環境の復元</li> </ul>
佐野有司 (高知コアセンター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ムール貝の殻に残された 2011 年東北沖地震の影響</li> <li>・ 生命の起源について</li> <li>・ 高解像度海洋古環境復元～シャコ貝殻から引き出された日射量情報～</li> </ul>
後藤明 (南山大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南の海の星：ディズニー・アニメからでも学べる南太平洋の人類学</li> <li>・ 南太平洋におけるサンゴとサンゴ礁-神話と神殿から-</li> <li>・ 古代南島の海と星</li> </ul>

<p>松田博樹 (熊本大学)</p>	<p>・喜界島はどうやってできたのか？～喜界島の地質と地史～</p>
------------------------	------------------------------------

北野裕子 (国立環境研究所)	・石サンゴの分子系統および集団遺伝
脇谷量子郎 (東京大学 大気海洋研究所)	・魚の形からわかること
安田仁奈 (東京大学大学院農学 生命科学研究科 教授)	・気候変動とサンゴの移動
高宮広土 (鹿児島大学国際島嶼 教育研究センター 教授)	・奄美・沖縄諸島先史時代のサンゴ礁環境利用について
脇谷量子郎 (東京大学 大気海洋研究所 特任准教授)	・サンゴの島に棲む淡水魚
Steffen Hetzinger (キール大学 客員 研究員)	・ Long-lived corals as recorders of past climate - examples from the Caribbean Sea
佐々木圭一 (金沢学院大学 経済 情報学部 教授)	・サンゴ礁とサンゴの化石から過去 12 万年間の海面変化を復元する -喜界島の例を中心に-
柳研介 (千葉県立中央博物館 分館海の博物館)	・種を分類することの大切さ -クマノミと共生するイソギンチャクの例から-

## 1. 参加要件

参加費：1,000円/月

※2024年4月より

- ・ 自宅のパソコンまたはタブレット端末でのオンラインアクセスが可能である

## 2. 申込方法

Noteメンバーシップ「Atoll」より「サンゴ礁レクチャーシリーズ」をご選択いただき、お申し込みください。

■ Note URL : <https://note.com/kikaireefs>

## 3. お問い合わせ

喜界島サンゴ礁科学研究所

電話:0997-66-0200

mail: college@kikaireefs.org